

病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

1 基本情報

法人名	船橋市
医療機関名	船橋市立医療センター
所在地	現在地：船橋市金杉1丁目21番1号 移転先：船橋市米ヶ崎町及び高根町周辺（土地区画整理事業予定地内）

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む) <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
財政支援	<input checked="" type="checkbox"/> 特別交付税措置 <input type="checkbox"/> 特別償却制度 <input checked="" type="checkbox"/> 県補助金

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

3 今後担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
整備後	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他の内訳及び補足等	当院は、地域医療支援病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院などの役割を担っており、新病院でも、現在の役割・機能を継続しながら、急性期医療のさらなる機能強化を図っていきます。										

4 整備後の診療科

診療科名	整備前	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、代謝内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、脳神経内科、腎臓内科、精神科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科（31科）
	整備後	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、代謝内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、脳神経内科、腎臓内科、精神科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、 <u>小児外科</u> 、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科（32科）

5 病床機能及び入院料

	整備前	整備後	届出予定の入院料
4 機能 合計	449 床	501 床【+52 床】	
高度急性期	429 床	476 床【+47 床】 (一般+29 床、 ICU+12 床、 SCU+6 床)	急性期一般入院料 1 小児入院医療管理料 2 救命救急入院料 2 <u>特定集中治療室管理料 1</u> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料
急性期	20 床	25 床【+5 床】 (緩和+5 床)	緩和ケア病棟入院料 1
回復期	床	床	
慢性期	床	床	
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	

6 病床機能を変更する理由等（現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ）

東葛南部保健医療圏における「高度急性期」、「急性期」の病床数は、地域医療構想の必要病床数を上回っておりますが、本医療圏において、生命に関わるがん・脳卒中・心臓大血管疾患等の高度急性期・急性期病床の患者は、2040 年に向けて、引き続き増加が見込まれており、現在の病床数では、将来の医療需要に対応できない恐れがあります。

本医療圏の三次救急医療機関として、救命救急センターで重篤な患者を受け入れている医療センターでは、医療需要の増加に対応するため、さらなる病床が必要になると考えております。

なお、増床分の病床については、昨年度までに千葉県知事より承認・配分済みです。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

地域医療支援病院として、船橋ならびに近隣地域の広域な地域医療連携に取り組んでまいりましたが、引き続き、地域完結型医療の推進に向けてさらなる医療連携の充実を図ります。

8 整備スケジュール

供用開始予定	令和6年 3月予定
その他補足	令和元年度（今年度）：発注準備 令和2年度：基本設計、実施設計 令和3年度：実施設計、建設工事着工 令和4～5年度：建設工事、開院